

藤井：udu udu にヤギもはいつているのか？

前川：もちろん入っている。

藤井：あくまでもノロバなのか？馴化にいたらず、人為的繁殖もしない。

西秋：テル・ブラクはメソポタミアなのか、シリアなのか？テル・ベイダルはシリアといったが。

前川：シリア、メソポタミアの結節点と逃げの答えをしたい。シリア、メソポタミアの一体化がこのときにあったことが重要。

岡田：当時の地域名称はわかっているのか？

前川：もちろんテル・ブラクについては前3千年紀以降の都市名がわかっている。また、エブラ文書の証拠から、当時交渉のあった都市の名称がわかっている。テル・ベイダルは宿場町。また戦車関連資料がこの時期にひろく出土していることから、前3千年紀はロバ交通の時代だったといえ、それが前2千年紀まで続いたとするのが妥当。テル・ブラクに関しては逆にこちらが教わりたい。

藤井：眼つぶれについて、ハイブリッドだからややこしい？

前川：目潰しを意図的に行なったとするジョアン・オーツらの説があるが、後に目の悪い ANŠ E. BAR. AN を売り飛ばすという文書が発見されていることからそれは当たらない。

松本：ゾウに関する記述はあるか？

前川：前2千年紀のテキストにゾウはでてくるが、インド・バクトリア系か、シリア系かは不明。ただし、他の文書でインド象だと確実にわかる場合がある。クジャクも同様で、インダス文明と交易活動を行っていた極めて限られた時期に出現するので、インドからもたらされたのは間違いない。ダチョウについても前3千年紀からシリアにいたのは追える。メソポタミア側にダチョウがいたかどうかはわからない。ただし、当の動物学者で古代の特定動物種の生息域や分布については解答をだせていない。

西秋：前川さんのシリアとはどれくらいの範囲なのか？

前川：今回話したのは歴史的なものではなく、現代の国境の範囲内。

石田（恵）：シリアノロバはいたのか？

前川：わからないが、レイヤードとクセノフォンが現地を訪れた際のロバ遭遇の記述がまったく一致しているのはおもしろい。テル・ブラクに ANŠE.BAR.AN がいたのは間違いないが、Anše.edin-na はいなかったようである。テル・ベイダルには ANŠE.BAR.AN だけでなく Anše.edin-na もいた。